

# 市民234人が参加 市長と語る会 を開催しました

8月21日から29日にかけて、市内7校区の会場で「市長と語る会」を開催しました。いずれの地区においても活発な意見交換が行われました。

各地区での質疑内容の一部についてご紹介します。

◎問い合わせ先

神崎市役所 市長公室 ☎37-0088

8/21

神崎小学校区（会場） 神崎市中央公民館

質問

防災行政無線の放送に際してのマニュアルなどがあれば教えてほしい。

回答

マニュアルについては一定のものを作り、各地区に合わせて調整をしたい。

質問

災害の際、駅ヶ里地区は神崎高校が避難場所になっている。神崎高校の東裏の運動場の門の鍵を貸し出し、緊急時にはすぐに避難できるようにしてほしい。

回答

避難場所については、なるべく避難しやすいように工夫していく。鍵は借りることができるか神崎高校に申し込みを行いたい。

質問

市役所を建て替える予定はあるのか。

回答

現在の神崎庁舎は昭和46年の12月に建てられ、耐震の問題もあり安全であるとは言えない。吉野ヶ里町との合併が実現すれば、そのあと建て替えるのが理想。合併が実現しなければ、合併特例債が平成32年まで延長されたため、その期間内に検討する。

質問

脊振ダムはどのようなになっているのか。

回答

脊振のダムの計画については進展していない。平成18年7月20日、国交省から筑後川水系に関する河川整理の計画が立てられたが、政権が代わり、いまだ見直しが行われていない。国には早急に対応してほしいと考えている。

質問

公民館でテレビを見るのは、1年のうち数時間しかない。それに対してNHKの受信料を払うのは無駄ではないか。

回答

避難場所に指定している以上は、情報を流すためテレビは必要。無料でできないか検討したい。コミュニティチャンネルについても無料でできないか、ぶんぶんテレビに打診している。

8/22

西郷小学校区（会場） J A西郷支所

質問

大雨などの防災について、姉川上分地区では調査を行い、毎年、市の防災担当に書類を提出しているが、うやむやになったままであるので対応してほしい。

回答

内水面の排水ができるような設備をつけてもらうようお願いをしている。

質問

避難勧告がでた場合のマニュアルを作成してほしい。

回答

マニュアルについては、ハザードマップを配布しており、さらに見直しをしていきたい。避難訓練も行わなければならないと考えている。

質問

地区内に空き家が何軒かあるが、中にはかなり傷んでいるものもある。区長として持ち主に解体をお願いする権限がないのでどうにかしてほしい。

回答

今日の法律では、個人の所有権が絶対であり、市で対応することができない。現在、国を挙げて研究が行

われており、県東部地区で研究会を立ち上げ検討している。

質問

防火用水に土が溜まり、防火用水としての機能を果たしていないのではないかと。

回答

防火用水の浚渫については、市だけで全てを管理することができないので、地区の皆さんの協力をお願いし、地域協働推進事業などで計画的に進めていただけたらと思う。

質問

防災行政無線を使って、市長と語る会などの宣伝をしてもいいのではないかと。

回答

防災行政無線は、原則、緊急時に使用することとなっている。事前に広報できることについては、市報等を通じてお知らせをしたい。一方では、無線が「うるさい」と言われる方もいる。現在、防災行政無線の検討委員会を立ち上げており、市民の方の意見を反映しながら考えていきたい。

8/23

仁比山小学校区（会場） J A仁比山支所

質問

学生たちが仁比山公園の川で水遊びをしている。監視員などが誰もいないが、どのように管理しているのか。

回答

仁比山公園の川で遊ぶことは禁止としている。夏休みの間は、各学校が順番で巡回指導を行い、青少年育成市民会議でも巡回をしている。しかし、その合間を縫って遊んでいる子どもがいるため、家庭でも指導をしてもらうように注意を促したい。

質問

ダムの論議が始まって40年になるが、滞ったままで住民が困っている。地元の見解を聞き、もっと市が国に要請するべきではないか。

回答

政権の交代に伴い、国の方針が変わってしまっている。一度決めた方針は守ってほしいと国に訴えているところである。

**質問** 神崎中学校にプールを造る予定はあるのか、また現在ない理由を教えてください。

**回答** 文部科学省の指導要領では、必ずプールを造らなければならぬとはなっていない。造りたいという気持ちはあるが、現在の市の財政状況ですぐに実現できないので、近い将来造ることができるよう検討したい。

**8/24** 千代田東部小学校区（会場 JA千歳支所）

**質問** 黒津にある排水ポンプは力が弱いので、干潮時に姉川や城原川の上流で早めに排水しておいてほしい。

**回答** 筑後川の水位でも変わってくるし、満潮時は厳しい。排水ポンプの能力を上げるように検討が必要である。上流と下流では地区事情が異なり、南部地区の水事情では迷惑をかけている。

**質問** 葬祭公園については、どこまで話が進んでいるのか。

**回答** 最終決定ではないが、吉野ヶ里町と共同で、小淵志波屋の土取り場跡地を第1候補として取り組んでいる。平成28年頃から使用できるようにしたい。

**質問** 買い物弱者対策について、何か進めているのか。

**回答** 巡回バスで、スーパーなど買い物ができる場所を通るようにしている。トラックでの配送や、街の近くに住み変えてもらうことも必要ではないかと考えている。

**質問** 神崎市内の小・中学校で、いじめは起きていないのか。

**回答** ゼロではないと思う。おかしいと思ったときは声をかけてほしい。隠すつもりは一切ないが、ことさらに取り上げていくのも問題ではないかと考えている。子どもたちの様子をしっかりと見極め、介入しすぎないようにすることも必要。

**8/27** 千代田中部小学校区（会場 千代田支所）

**質問** 灌漑水路など農業用施設の老朽化が顕著に始めているので、市の農業の発展のため、改修事業への支援をお願いしたい。

**回答** 市ができる範囲で、土地改良事業の中で進めていきたい。

**質問** 近年は予測できない大量の雨が降り、大きな災害が起きた場合、端的に言えば住民は逃げるしかない。「逃げる」ことへの対応を市を挙げて取り組むべきである。実際の災害を想定し、市内を区分けして順次防災訓練を実施する必要があると思う。

**回答** これまでは伝達訓練が主だったが、大雨が降れば城原川沿線が一番危険となるので、決壊を想定した訓練の実施について防災会議の中で提案したい。高齢者や体の不自由な方の避難は役所だけでは対応できないので、地区の中での協力をお願いしたい。

**8/28** 千代田西部小学校区（会場 ちよだ保育園）

**質問** グランドゴルフをできる場所があまりない。筑後川下流の西側をグランドゴルフ場として整備してもらえないか。

**回答** 早々に検討をしたい。

**質問** 住民だけで自主防災組織をつくることは難しい。市が指針を示し、指導してもらいたい。

**回答** 防災については、それぞれの地区に合わせた対策ができるよう、担当と協議しながら進めていきたい。

**8/29** 脊振小学校区（会場 脊振公民館）

**質問** 旧古賀銀行の整備はどのようになっているのか。

**回答** 市が購入している。外見はそのまま残し、中を展示場所もしくは集会所等として使うことを検討している。通りの反対側の広場も市で購入予定であり、勤労者体育館横の土地も市が所有しているため、その周辺一帯を利用して取り組めることを検討していきたい。

**質問** 今後、脊振の過疎対策をどのようにしていくのか。

**回答** 神崎市在住の人を雇うことを条件とした企業誘致を進めていく。

**質問** 脊振の放課後児童クラブでは、現在、二千年館を利用している。一般の子どもと放課後児童クラブの子どもが混在しているため、きちんと区別をしてほしい。

**回答** 図書館等で一般の子どもたちに迷惑をかけているのであれば、利用できる時間を設定するなどして対応したい。グラウンドで仲良く一緒に遊んでいる子どもたちもいるようなので、見守っていただけだからと思う。

**質問** 脊振中学校の体育館を武道館にする予定だが、多目的に使える広さと設備にしてほしい。

**回答** 建て替えを行う前に教育委員会、建て替え検討委員会、学校関係者、育友会で協議・説明会を行ってきた。要望等も聞きながら、よりよい施設となるように今後計画していきたい。

**質問** 学校給食の試食会では、ご飯が固く、おいしく食べられないようになってしまった。唐揚げとお吸い物などでなく、あたたかみがあるメニューにした方がよかった。

**回答** 新しい共同調理場ができ、作る人、器具、全て新しいものばかり。調理に慣れるためのトレーニングを行い、そこで作られたものを試食会で提供したもので、主旨を理解してほしい。今後、トレーニングを重ねて、より良い給食を提供できるようにしたい。

# 意見、提案を受けて

①

市長 松本 茂幸

## 『連続する水難死亡事故発生について、市長はどう思うか』

「市内の小中学校では、川遊び（遊泳）は禁止されています。少し以前までは、地域の保護者がお互いに立ち番を定めて、地域で決められた河川の遊泳箇所

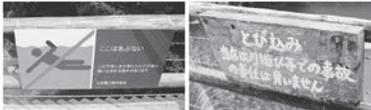
で水遊びをさせられていました。今は、全く禁止の状態になっているようです。7月22日と8月25日と連続して水難死亡事故が発生したが、あらためて子供たちへの安全対策はどうなっているのか。市長はどう思われるのかお尋ねしたい」との質問をいただきました。

事実、どちらの事故も、誠に

いたましい事故であります。19歳の若者が、と疑いたくありません。現場は皆さんご周知のとおり、城原川の溪流きつての景勝地で知られている岩屋砂防堰付近の事



岩屋砂防堰付近



故であります。

7月22日は、数日降り続けた山降りのため城原川の水位がいつもより多く、危険だから『中洲に行つての遊びは止めたほうがいいよ』との、地域住民の呼びかけにもかかわらず、涼を求めて訪れていた若者は、中洲に渡り水遊びを楽しんでいたとのことです。ところが、水流の中を渡ることが怖くなるほど徐々に水かさが増して、若者たちが気付いたときには対岸に渡れない状況になり、その中洲に取り残された仲間を助けようとして

足を滑らせ、約10m下の滝つぼに流されたらしいとのことでした。

また、8月25日の水難事故は、25歳の消防士でありました。『なんで消防士が？』と思いましたが、そこには、『遊泳禁止』、

『飛び込み禁止』の看板が設置されていたのに、残念です。二人の前途ある若者の死に心からお悔やみとご冥福を申し上げます。



矛盾すると思えます。安全の限度を知っていれば、これを越すと危ないと知っていれば、7月22日の事故は防げたのではないかと思うのです。知っていることとは大きく異なるものだと思います。

ここで、私は思うのでありますが、「危険だから、川遊びは一切禁止です」という、今日の教育の在り方には疑問を覚えます。なぜならば、危険回避の名のもとに子供たちは何ひとつ川遊び（楽しみ、喜び）の体験をせず、危険と安全の接点、その領域の判断体験をせずに大人になるわけです。成人にして初めて川遊びをする者は、水中での自分の行為が大丈夫なのか、危なっかしい行為なのか、負傷するか死に至る行為なのか、そのような判断ができないのではな

いかに思うからです。『生きる力』や『体験学習』を重んじる教育がおこなわれている今日、

ですから、神埼市の子供たちにはここまでは安全だ、これ以上は危ないとの判断のできる体験教育をさせるべきだと思のです。しかし、こういった体験教育を行うには保護者の理解と協力がなくてはできないことです。今夏、テレビ放映されていた夏休みの子供預かり体験遊学（2泊3日で、『命は保証するが、骨折までは許容』が参加の条件）は、とても印象に残るものであります。

今後、神埼市の子供たちがしっかりと生きる力を持ち、将来を担い、社会貢献のできる大人となつてもらうために、保護者、地域の方々、先生、教育委員など多くの皆さんと危険体験教育などについて意見交換ができることを希望します。

どんなことでも構いません。皆様の声をお聞かせください！

## 夜の市長室

9月の脊振支所開催分には、6人が来庁されました。

◎問い合わせ先

神埼市役所 市長公室 ☎37-0088

### ○今後の予定

とき	ところ
10月2日(火)	神埼市役所
11月6日(火)	千代田支所

18:00～20:00(1組30分程度)

※当日は、来庁順で受け付けを行います。  
※お住まいの地区に関係なくお越しいただけます。

# 9月議会開かれる

市議会9月定例会が9月3日から20日まで18日間開かれ、平成24年度一般会計補正予算案など19件の議案が審議されました。

今回の一般会計補正額は7億3023万5千円で、補正後の総額は139億6165万8千円となります。

主な新規事業としては、脊振町一谷地区の遊休市有地を活用したメガソーラー用地の造成事業に4007万2千円を計上。事業者を選考中で、順調に行けば来年5月ごろに設備完成の見込みです。

また緊急空き家調査事業に326万4千円、障害者虐待防止対策支援事業に12万8千円、西九州大学との官学連携共同商品開発研究推進事業補助金として42万円などを予算化しています。

このほか主なものでは、すでに9月号でお知らせした巡回バスの拡充を図る地域公共交通活性化協議会補助金に626万5千円、脊振中学校体育館建て替え事業に2646万円などが挙げられます。

なお、災害復旧関係費として専決処分を行った1555万6千円の承認を求める議案なども提出されました。



▲脊振町一谷地区に建設予定のメガソーラー

## ●一般会計補正予算の主な内容 (☆は新規事業)

単位：千円

事業名	補正予算額	事業の内容	担当課
☆ 緊急空き家調査事業 (短期雇用基金)	3,264	近年の空き家の増加で、防犯、防火、環境などの問題が起きている。現況把握のため調査し空き家マップを作成する。	防災危機管理課 ☎37-0104
☆ メガソーラー用地造成事業	40,072	再生可能エネルギー特別措置法の成立に合わせ、脊振町一谷地区の遊休市有地で、メガソーラー設置運営事業に取り組む。	市長公室 ☎37-0102
地域公共交通活性化協議会補助金	6,265	巡回バス運行を支援し、地域の実情に即した市民生活交通の確保、利便性の向上、交流活動の活性化を図る。運行ルート見直しに伴う補正。	市長公室 ☎37-0102
☆ 障害者虐待防止対策支援事業	1,128	障害者虐待を受けた障害者に対する保護、自立への支援養護者に対する支援などに関する施策の促進を図る。	高齢障がい課 ☎37-0111
緊急雇用対策事業	52,951	離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者の失業に対して、次の雇用までの機会を創出することを目的とする。	商工観光課 ☎37-0107
☆ 佐賀県外国語教育充実プラン事業	260	英語の使用機会の拡充、英語学習へのモチベーションの一層の向上を図るため、研究を推進することを目的とする。	学校教育課 ☎44-2384
脊振中学校体育館建て替え事業	26,460	45年が経過し、建物が著しく老朽化していて、安全確保のため早急に体育館の解体、および建て替えが必要。今回、解体工事請負費を計上。	学校教育課 ☎44-2296
農地・農業用施設災害復旧事業	79,104	平成24年6月8日から7月23日にかけての梅雨前線豪雨等によって被災した農地・農業用施設の復旧を行い、農業の維持・農業経営の安定を図る。	農政水産課 ☎37-0117
住宅リフォーム緊急助成事業	46,717	既存住宅の耐震化、エコハウスなど住まいの安全・安心の確保と質の向上を図るため、住宅修繕・模様替え等に対して助成を行うことで、リフォームの促進と地域経済の活性化を図るとともに市内業者への発注機会の促進を図る。	商工観光課 ☎37-0107

有料広告

**多吉! 祭! 三神**

10月27日(土)・28日(日)

ステージイベントや屋台、ゲームなど盛り沢山!!

社屋駐車場にて開催

お友達を誘って遊びに来てね!!

有料広告

ステージイベント  
屋台販売  
ゲームコーナー  
特価商品販売  
ビンゴ大会  
その他盛りだくさん!!

くらし★快適サポート

**Sanshin**  
サンシン

株式会社 三神  
☎0952-53-1221  
http://www.sanshin34.com/